

# 編 集 室

新聞朝刊2～3面の記事下広告を熱心に見る人たちがいる。お目当ては新刊本の案内だ。広告になじみの作家の新作が出ていると、その日の夜8時頃までには読み終える。東京・銀座のバーの世界の話。

書店で購入すると、諸事を後回しにして、ひたすら読む。一気通読にはエネルギーがいる。体調不良では、とてもできない。

新聞掲載日の夜に現れた作家へ読後感をたっぷり伝える。終盤の記述を強くアピールするのが決まりとか。

作家は、最後まで読んで、と感心するそうだ。同時に、血の通った人のぬくもりを感じるのだという。

その作家が連れてくる作家仲間の新刊本も次から目を通しておかねばならない。客が増えると同時に読書量も増える。

酒類はどこでも飲めるから、付加価値というものをつけるのだそうだ。こうした接待がビジネスとなり、店は繁栄する。

体の具合が悪く、読むのがつらいときもあるが、店側はこの道を行くという。読書で知識を得られ、知見を広められる。一挙両得とでもいおうか。

世の中には、いろいろな業種・業態がある。卒業生諸君、社会は考える以上に広い。

(編集長 久保田茂信)

## 訂正



昨年冬号14P「詩は社会を変える力 シンポジウム開催」の記事中、3カ所に誤りがありました。正しくは次の通りです。

ある日、一人の青年が自ら書いた「くも」という詩を紹介した。「空が青いから白をえらんだのです」

青年の父親は、青年が幼いとき母親にずっと暴力をふるっていた。

入院中の母親は青年に「つらくなったら空を見てね。わたしはそこにいるから」と伝えた。

# Staff

## ◎取材協力

学事部  
各学部事務室  
大学院事務室  
学生部  
ボランティアセンター  
中央図書館

国際センター  
入学センター  
キャリアセンター  
学友会  
経理研究所  
委員会 ほか

## ◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

## ◎学生記者

山下 崑	佐藤 檀子	野口 真莉子
菅野 誠一郎	本間 友里香	山田 亮太郎
今村 直道	宮田 詩織	宮本 大句見
片桐 将吾	森 真優	中里 真侑
長塚 優佳	田村 律子	高石 航平
内藤 伊音	土方 海緒	(順不同)

## ◎制作協力

平田 碧 (株式会社ツグミ)  
稲葉 美枝子 (株式会社オーク)  
太田 まゆみ  
土谷 彩絵子  
小室 恵理子  
桑原 和彦 村田 朋隆 (研精堂印刷株式会社)

## NEXT ISSUE

『HAKUMON Chuo』2018 春号  
No.256 4月3日配本予定

学生記者が総力取材!

# お楽しみに!



## 2018 早春号 NO.255

2018年(平成30年)3月24日配本

発行：中央大学広報室  
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc@tamajs.chuo-u.ac.jp  
編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048